

## 欠席委員の意見

## 池田委員

## ●内容

アンケートの内容につきまして、教育関係者としての立場から、１点お伝えしたいと思います。

資料２－２「１８歳未満当事者」向けのアンケートで、問３４についてです。「どれを優先的に取り組む（継続する）べきと考えますか」という質問がありますが、「障害のある子供たちが少しでも身近な通いやすい学校で学び、地域とのつながりの中で成長できるよう」にしていくことが、国や県としての方向性だと思います。

つまり、選択肢１が、国や県の目指している方向性です。選択肢３は、その方向性の中で必要となる配慮だと思います。

方向性として決まっている内容を、選択肢として保護者さんに選ばせるのが適切か、疑問に思いました。国や県の方向性を踏まえて質問するのであれば、例えば、次のような問いになるのではないのでしょうか。なお選択肢は、「第３期愛知県特別支援教育推進計画（愛知・つながりプラン 2028）」を参考にしました。

以上、検討していただけたら幸いです。

## ●修正案

資料２－２「１８歳未満当事者」向けのアンケート

## 問３４（案）

「障害のある子供たちが、少しでも身近な通いやすい学校で学び、地域とのつながりの中で成長できるようにしていくために、（または、障害のある子もない子も共に学ぶことができる環境づくりの推進に向けて）課題となっているところはどんなことだと思いますか。」（〇はいくつでも）

## 選択肢（案）

- １ 幼稚園・保育所等、小中学校、高等学校教員の特別支援教育に関する知識・理解の向上
- ２ 幼稚園・保育所等、小中学校、高等学校における、校（園）内支援体制の充実
- ３ 誰にとっても分かりやすい授業のユニバーサルデザイン化の推進
- ４ 特別支援学級や通級指導教室の適切な配置及び運用（小中学校）、通級による指導の充実（高等学校）
- ５ 就学先の学校や学びの場の決定・見直しに関する研修の充実